

今こそ、おやじの出番！

おやじ日本 全国大会が開催されました

6月26日、昨年に続いて「おやじ日本全国大会・おやじ東京都大会」（おやじ日本・おやじ東京事務局、東京都教育委員会共催）が東京都総合技術教育センターで開催されました。

今回の開催は、教職員殺傷事件が起きた大阪府寝屋川市のおやじの会から、「おやじの会が、もっと学校や子どもたちにかかわっていれば、事件は防げたのではないか」と「おやじ日本」に相談されたことがきっかけとなりました。



「～子どもが安心して、いきいき育つ地域とは～子どもたちが孤立せずに、いきいき育つ地域をどうしたら作れるか」というテーマのシンポジウムでは、竹花東京都副知事（6月26日現在）

がコーディネーターを務め、寝屋川市成美小学校区のおやじの会会長の前田泰洋さんもシンポジストとして事件前後の様子を

シンポジスト	寺脇 研（文化庁文化部長）
	曾田良三（世田谷区教育センター指導員）
	前田泰洋（寝屋川市成美小学校区おやじの会会長） 齋藤史哉（和泉ピースプラスワン代表）
コーディネーター	竹花 豊（東京都副知事）（6月26日現在）

（敬称略）

お話していただきました。

基調講演「気づかせて育てる子どもの力」では、京都市立伏見工業高校ラグビー部を全国優勝に導いた山口良治氏が、「子どもたちが、何か悪いことをしている現場に遭遇しても、その場で注意できない、情けないおやじが多すぎる」「初めておやじになった（おやじにさせてもらった）頃は、子どもに何かあった時には、すぐに反応していたはず」と全国のおやじたちの奮起をうながしました。

最後に、作詞家星野哲郎氏が「おやじの会」のために作詞された「おやじ」という応援歌が、作曲を担当した、あどRun太氏と世田谷区立八幡中学校おやじバンドの皆さんによって披露されました。



第2回「おやじ日本大会」アピール

- 一、子どもと地域のために、おやじが汗をかこう
- 二、子どもがいきいき育つ地域づくりに貢献しよう
- 三、おやじ自身も学び、地域でいきいき生きよう

心の東京革命

米長邦雄の「親子ふれあい将棋教室」（夏期）



7月16日（土）、都内在住在学の5歳から15歳の子どもと保護者268人が参加して、「米長邦雄の親子ふれあい将棋教室」（夏期）が開催されました。

指導には、東京都教育委員会委員の米長邦雄 社団法人日本将棋連盟会長をはじめ、11名の方があたりました。

プロ棋士による指導対局では、投了した子どもたちに、良かった手や悪かった手などを丁寧に説明し、励ましの言葉をかけていました。プロ棋士に励まされた親子の満足げな表情が印象的でした。



子どもの目線で指導する野本七段



おとうさんと一緒にの対局は楽しいな！

また、別会場では、小田切指導棋士による初心者教室が、和やかな雰囲気の中ですすめられていました。

今回は、特別に谷川浩司九段のお話があり、「将棋は礼儀を重んじる競技。子どもの対局の姿勢が良くない時やあいさつがきちんとできない時には、親の注意が必要です。しかし、対局で子どもが負けてしまった時は、子どもは自分のミスがわかっていますので、それをさらに指摘すると逆効果になってしまいます。負けることは、つらいことではありますが、恥ずかしいことではありません。負けた手を覚えて、自分のものにしていくことで、どんどん強くなります。」と参加の親子にエールを送っていました。



憧れの谷川九段との対局では、九段の手に視線がくぎ付けです

指導者の方々

米長邦雄連盟会長	中田 功 六段
谷川浩司 九段	佐々木慎 四段
野本虎次 七段	長岡章人 四段
大島映二 七段	広瀬裕也 四段
堀口弘治 七段	藤田 綾 女流初段
小田切秀人 指導棋士四段	

「米長邦雄の親子ふれあい将棋教室」（秋期）が予定されています。詳細は、東京都生涯学習情報ホームページに掲載予定です。（<http://www.syougai.metro.tokyo.jp>）